

永遠

仕事が休みの日

俺はファミレスでコーヒーを飲み

詩集を読む

雨の中 自転車で家に帰って来る

疲れた 疲れた

休みの日も疲れる

仕事の日も疲れる

俺はなぜこんな俺のために

いや こんな奴のために

働かなければならないんだ

こいつは十年前も同じことで悩んでいた

こいつは同じことを繰り返しているだけ

こいつはきつと百年前も

四百年前も同じことを考えていただろう

こいつ 俺の遺伝子

こいつはまた恋をして

結婚をして責任に縛りつけられ

そうとう働くだろう

俺はこいつのために

人生をだいなしにしなければ

ならないだろう

イシガメ

橋の上でぼくは濁川を見ている

イシガメが

岸に上がると

薔薇色のゲップをする

甲羅に

フィッシュオイルを塗り

川に潜水する

その時

地球がガバッと

二つに割れる音がする

ぼくは家へ帰り

クーラーの部屋で

目眩におそわれる